

リチウムイオン電池等検知システムの実証実験結果

	第2回(2025年度)		第1回(2024年度)		説明
	破袋前※1	破袋後※2	破袋前※1	破袋後※2	
ごみの高さ	30cm程度	10cm程度	30cm程度	10cm程度	コンベヤを流れるときのごみの「高さ」です。破袋前は均すことができないため、高くなります。
テスト数	406袋	406セット	261袋	159セット	袋を破いた分は「セット」で示しています。1セットは約1袋分です。
電池が入っている数	117袋	117セット	56袋	48セット	
電池検知数	96袋	100セット	51袋	48セット	
電池未検知数	21袋	17セット	5袋	0セット	電池が入っているごみから電池を検知できなかった数です。
電池誤検知数	25袋	13セット	21袋	10セット	電池が入っていないごみを誤って電池が入っているごみと検知した数です。
正解率	88.7%	92.6%	90.0%	93.7%	正解率 = (1 - ((未検知数 + 誤検知数) ÷ テスト数)) × 100

※1 ごみが袋に入った状態。

※2 ごみを袋から出した状態。

第2回の実証実験では、第1回と比べ条件を厳しくした状態(1セット重量1.5倍)でも正解率は、ほぼ同等の結果となった。